

オオムラサキ

学名 Sasakia charonda charonda (Hewitson)

目名 チョウ目

目名学名 LEPIDOPTERA

科名 タテハチョウ科

科名学名 Nymphalidae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)

NO IMAGE

【選定理由】

河川改修, 河川上流部の伐採とスギ・ヒノキ植林などによる生息環境の悪化で, 個体数の減少傾向が進みつつある。

県内分布	県南沿岸地方と離島を除く県内全域
分布域	北海道,本州,四国,九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	日本固有種
生息環境	溪谷や河畔林のエノキ, 林内のエゾエノキを食草とし, 冬季は食草の根元の落葉下で幼虫越冬する。成虫は樹液を好み, 広く明るい空間を広範囲に飛翔する。
現 状	食草のエノキは雑木として伐採されることも多く, 全国的に個体数を減じている。県内でも, 市街地周辺の里山では見ることが少なくなった。
備 考	日本の国蝶として有名。